

		町 長 教育長	<p>(3) 高収益作物の導入とは対象とする作物や導入に向けた具体的な計画はどのようなものか。</p> <p>2. 教育環境について</p> <p>(1) 銀河アリーナの施設複合化の検討とは、具体的にどのような計画で進めるのか。</p> <p>(2) 町内スクールバス運行状況について、増やす計画があるのか。また、今後の見通しについて問う。</p>
3	吉原 光	町 長	<p>1. コスモピア内之浦跡地整備方針転換の妥当性と公有財産（温泉源泉）の管理について</p> <p>(1) 12月議会における町長の答弁の矛盾と、施設整備に対する真意を問う。令和7年2月臨時会での「町で造る」という町長答弁は、5億4千万円の解体予算決議に際し、議会・住民の判断に多大な影響を与えた。この答弁を翻し「民間再公募」としたことは、結果として「解体予算を通すための誘導」であったとの疑念を禁じ得ないが、町長はどう釈明するか、再度伺う。</p> <p>(2) 方針転換の理由とされる「社会情勢の変化」は、優先交渉権者選定時(令和6年3月)から予見可能であった。予見できた困難を理由に公約を反故にする姿勢は、首長の政治責任を欠くものではないか、所見を伺う。</p> <p>(3) 「どこも担い手がない、ロケットももう打つことがなくなったら町で造る」この町長発言の真意を問う。</p> <p>(4) 旧内之浦町が「ふるさと創生資金」で掘削した温泉源泉は町の宝である。現在、解体に伴いポンプや電源が撤去されたと思うが、汲み上げ停止による源泉の死滅(自噴能力喪失や閉塞)のリスクをどう評価しているか。</p> <p>(5) 再開を目指すと言いながら、再開に不可欠な源泉の維持管理を放棄している現状は、「最初から建設の意思がない」ことの証左ではないのか。</p> <p>(6) 3,366筆という膨大な数の署名が集まった嘆願書は、町の総人口に鑑みても極めて重い意味を持つ。これは、単なる一部住民の意見ではなく、早期建設を強く望む住民の総意が明確に示された動かぬ証拠であり、町政に対する重要な意思表示である。よって、内之浦地区にも温泉施設は必要であると強く思うが、町長の見解を伺う。また、今後汲み上げ作業を再開されるのであれば、以前行っていたように施設建設までの間、温泉を配布することを行ってはいかが。</p> <p>(7) 「スケジュールを持っていない」という無責任な状態をいつまで放置するのか。町が主導で整備に切り替える具体的な判断基準と具体的な期限を、速やかに明示するように強く求めるが、町長の見解を伺う。</p>

4	前原 和幸	町 長	<p>1. 公共施設のあり方について</p> <p>(1) 公共施設のあり方については、将来的に町の財政を揺るがしかねない重大な懸念材料になると強く危惧している。個別部局の判断に留まらず、全庁的な視点、あるいはそれに加えて住民をも巻き込んだ全町的な視点で議論する「横断的な検討会議」を早急に設置し、協議を行うべきと考えるが、町長の認識と今後の考えを伺う。</p> <p>町 長</p> <p>2. 防災対策の強化について</p> <p>(1) 本町の自主防災組織は、組織率こそ高い水準にあるものの、実態としては、活動の形骸化が懸念され、災害時に実働可能な組織が限られているという課題があると考えている。また、避難行動要支援者に対する「個別避難計画」の策定についても、完了の目処が立っていない現状にあると認識している。大規模災害への備えが急務となる中、形だけの組織から「動ける組織」への「質」の向上と、実効性のある避難計画の構築に向け、町長はどう取り組むのか、具体的な施策とスケジュールについての見解を伺う。</p> <p>町 長</p> <p>3. ライフジャケット着用条例について</p> <p>(1) 令和6年9月、本町において全国に先駆けて、「肝付町ライフジャケット着用条例」が制定された。これは、水難事故防止への本町の強い決意を示すものである。施行から現在に至るまで、町民や釣り人、関係機関からの反響、および具体的な普及実績や着用の浸透状況をどう把握されているのか。また、今後のさらなる安全意識の向上に向け、町長はどのような展開や施策を考えているのか、その展望を伺う。</p>
5	柳 一夫	町 長	<p>1. 林業伐採後の処置は</p> <p>(1) スギ・ヒノキなど伐期を迎え伐採されている。後田地区においても、広域に広がるが許可面積は何ヘクタールか？また、許可するに当たり流水等は考えているか。</p> <p>(2) 施政方針において、伐採後の林業振興について延べられているが、「植えて・育てる」林業のあり方について伐採後の指導、斡旋はどのようにしているか。</p> <p>(3) また、近年予想もしない大雨等の激甚化により自然災害が発生する恐れがある。シラス対策事業の水路の飲み込み口が狭く、水の流れが悪いと振興会長より要望があったと聞かすが、対処はどのようにされたか。</p> <p>町 長</p> <p>2. 環境整備について</p>

		町 長	<p>(1) 先の振興会長と語る会の中で、多くの振興会長から環境整備について話があった。令和8年度予算において、新たな考えが出されているが、大きく変わったところはどこか。</p> <p>3. 婚活応援について</p> <p>(1) 人口減少問題により、高齢者は多くなり生まれる子供は少ない。婚活応援予算が少ないと考える。出会い結婚相談事業において、大隅で縁結び等に5町で取り組んでいるが、現在の状況と成果は。 また、呼び込み・周知・広報は十分に行われているか。</p>
6	益山 二郎	町 長	<p>1. 公共施設について</p> <p>(1) 利用頻度が低い施設や遊休中とも言えるような施設があるのはなぜか。全ての公共施設のあり方を検討する組織を新設すべきではないか。</p> <p>(2) 民間利用の可能な施設については、売却等も含め検討すべきではないか。</p> <p>(3) 協議の中で更新すべき施設については、即建築等は無理があるから基金設立を行い、10年後20年後を見据え計画的に対応すべきではないのか。</p>
7	前田 美春	町 長	<p>1. 安心・安全なまちづくり推進について</p> <p>(1) 町指定の避難所である高山やぶさめ館、また隣接する高山温泉ドーム、健康広場前の街路灯設置状況について問う。</p> <p>(2) 先の提案により、高山温泉ドーム入口東側に街路灯2基が設置されたが、2基で十分か、設置について専門家と協議されたのか。</p> <p>(3) 高山やぶさめ館両入口付近については、大雨時や梅雨時期に道路が冠水し、付近に街路灯がなく非常に危険な箇所となっており、街路灯の設置の必要があると思うが、町の考えは。</p> <p>(4) 道路の冠水については、町民への安心・安全の考えから、注意喚起の必要性を感じるが、町の考えは。</p>
		町 長 選挙管理 委員長	<p>2. 投票率向上に向けた取り組みについて</p> <p>(1) 直近の選挙の投票率は（近隣3町より）低い率となっており、投票率を上げる為、町の対策、考えは。</p> <p>(2) 投票所の集約を図ったが、どのような効果・結果があったか伺う。</p>

- | | | | |
|--|--|--|--|
| | | | <p>(3) 投票において「記名方式」だけでなく「○×方式」の導入の考えは。</p> <p>(4) どこでも投票できる「共通投票所」の導入の考えは。</p> <p>(5) 待ちの姿勢ではなく、出向いての投票所の考えは。「共通投票所」を設ける考えは。</p> <p>(6) 投票所設置でのタブレット端末を使った電子投票の導入の考えは。</p> |
|--|--|--|--|